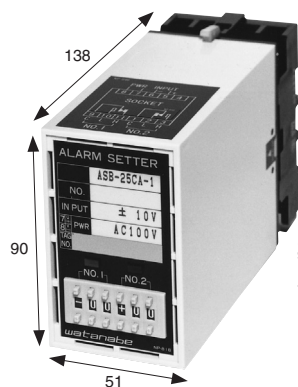


直流・センサラーム(極性付)

WVP-ASB



基本価格
標準 : 45,000円
DC電源 : +5,000円
テストポート : +1,000円

※99コードについては別途お問い合わせください。

本器は、各種センサから出力される両極性の直流電圧または直流電流信号を入力とし、その入力値があらかじめセットされた設定値を超えると、リレー接点信号を出力するプラグイン形の警報設定器です。

上限、下限の設定値はデジタルスイッチによって個別にセットできます。また、出力信号は各1T(1ab)接点ですから、外部回路の構成が容易です。

特長

- 設定が容易で確実なデジタルスイッチを表面に実装
- 低レベルの各種直流信号を直接入力できる汎用形
- 上限、下限とも各1T(単極双投)接点
- DINレール取付、据置取付両用のプラグイン形

形式

WVP—ASB—

ASB 直流・センサラーム(絶縁)

	入力信号	入力抵抗
22	DC ± 100mV	1MΩ
23	DC ± 1V	1MΩ
25	DC ± 10V	1MΩ
40	DC ± 1mA	100Ω
41	DC ± 20mA	50Ω
99	上記以外 お問い合わせください 電流入力 10μAfs以上20mAfs以下 電圧入力 10mVfs以上300Vfs以下	

第1警報出力 動作区分	
A	上限警報(異常時リレー励磁)設定値>0%
B	上限警報(正常時リレー励磁)設定値>0%
C	下限警報(異常時リレー励磁)設定値<0%
D	下限警報(正常時リレー励磁)設定値<0%

△ 設定値の極性により接点動作が反転します。
詳しくはセンサラーム解説をご覧ください。

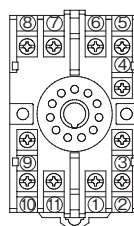
電源電圧		
1	AC100V ±10%	50/60Hz
2	AC200V ±10%	50/60Hz
3	DC24V ±10%	
4	AC110V ±10%	50/60Hz
5	AC220V ±10%	50/60Hz

第2警報出力 動作区分	
A	上限警報(異常時リレー励磁)設定値>0%
B	上限警報(正常時リレー励磁)設定値>0%
C	下限警報(異常時リレー励磁)設定値<0%
D	下限警報(正常時リレー励磁)設定値<0%

仕様

入力信号	直流電流/電圧
比較方式	アナログ比較方式
設定器	デジタルスイッチ設定 第1設定・第2設定独立(各2桁)
設定数	2点
設定範囲	±99%、1%きざみ
設定基準精度	±1.0%fs
出力信号	リレー接点信号、接点構成1T(単極双投)
リレー接点容量	AC250V・5A(Cosφ=1)、DC30V・5A...max. DC5V・10mA...min.
リレー寿命	定格負荷にて10万回
再現性	±0.5%fs
ヒステリシス	0.3%fs(固定)
応答時間	300ms(0~90%)
動作表示	LED 第1出力: 緑色、第2出力: 赤色
使用温湿度	-5~+55℃ 90%RH以下(非結露)
温度特性	±0.02%fs/℃
保管温湿度	-20~+70℃ 90%RH以下(氷結、非結露)
絶縁抵抗	100MΩ以上(DC500V)
耐電圧	入力-第1出力-第2出力-電源各端子間相互 AC2000V 1分間 入力-第1出力-第2出力-電源各端子間相互
消費電力(電流)	約3VA(AC)、約70mA(DC)

電源電圧の影響	±0.1%fs(定格電圧内)
外形寸法	90(H)×51(W)×138(D)mm
質量	約400g
構造	プラグイン(本体部とソケット部で構成)
結線部位	ベースソケットのM3.5セムスネジ部
端子ネジ材質	鉄に亜鉛メッキし三価クロメート処理
ケース色・材質	本体部: アイボリー色・耐熱性ABS樹脂 ソケット部: 黒色・PPO(ノリル)樹脂
取付方法	DINレール取付または壁面取付
外形図	外形寸法図Ⅲ-3参照
端子配列	



No.	記号	内容
1	No.2 OUTPUT	C
2		L
3		H
4	NC	空端子
5	INPUT	+
6		-
7	POWER	U(+)
8		V(-)
9	No.1 OUTPUT	C
10		L
11		H

センサラーム・解説

動作区分の選定

本器の電源が停電した時に、出力接点が安全サイドに入るように、用途に応じて動作方式を選定してください。

● 加熱の場合の例

非通電時に下限接点がONになる動作方式を加熱制御に用いると、本器の電源が停電した時に、温度が設定値より低いものとみなされて、ヒータが動作し続けてオーバーヒートを招きます。従って、加熱の場合は、停電時に上限接点がONになる動作方式を選定してください。

● 冷却の場合の例

非通電時に上限接点がONになる動作方式を冷却制御に用いると、本器の電源が停電した時に、温度が設定値より高いものとみなされて、クーラが動作し続けて過冷却を招きます。従って、冷却の場合は、停電時に下限接点がONになる動作方式を選定してください。

接点動作説明（代表例）

● 極性付直流センサラーム(ASB)

上限警報

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	A	設定値>0% 上限警報 異常時 リレー励磁			
		設定値<0% 上限警報 正常時 リレー励磁			

下限警報

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	C	設定値>0% 下限警報 正常時 リレー励磁			
		設定値<0% 下限警報 異常時 リレー励磁			

上限警報

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	B	設定値>0% 上限警報 正常時 リレー励磁			
		設定値<0% 上限警報 異常時 リレー励磁			

下限警報

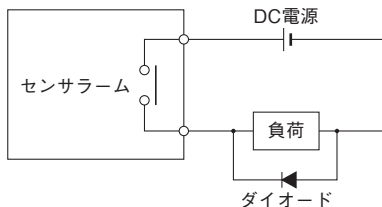
電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	D	設定値>0% 下限警報 異常時 リレー励磁			
		設定値<0% 下限警報 正常時 リレー励磁			

接点保護とチャタリング防止

誘導性負荷(DCモータ、コイル等)を駆動する場合は、リレー接点の保護とチャタリング防止のため、下図に準じた方法で対策を施してご使用ください。

● 直流電源の場合

負荷に並列ダイオードまたはCR火花消去器を接続してください。



● 交流電源の場合

負荷にバリスタまたはCR火花消去器を接続してください。

